

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（酒井産業株式会社）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・採用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・ハラスメントを禁止する旨および相談窓口を設置することを就業規則に明記し周知している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・法定労働時間を超える時間外労働については、従業員と協定を結び監督官庁に届け出た範囲内とすることを就業規則に明記し周知している								8.5 8.8										
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・レイシャルハラスメントを含むハラスメントを禁止する旨および相談窓口を設置することを就業規則に明記し周知している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・安全衛生に関して、法令を遵守しつつ相互に協力して作業環境向上に務めることを就業規則に明記し周知している			3					8										
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・メンタルヘルスの不調を訴える者について、担当替え、異動、リモートワーク、休暇の付与などをもって対処している			3															
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・女性が活躍できる体制づくりに積極的に取り組み、女性役員や管理職を登用している ・内職作業で就労支援施設や授産所を積極的に利用している						5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)			・社員の力量を適切に把握し、適所で能力が発揮できるよう、自己申告制度を設けている				4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・賃金および昇給は職務遂行能力・責任感・協調性・貢献度などによって支給する(＝雇用形態によらない)ことを賃金規定に明記し周知している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康診断の結果をもとに、専門のカウンセラーによる健康アドバイスを受けられる体制を整え、対象者に実施している			3						8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物の種類ごとに区切られた廃棄場所を設け、適切に分別廃棄するよう随時注意喚起を行っている											11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・自社のエネルギー使用量について、算定ツールを利用して実態を把握し、契約の見直しなどを随時行っている								7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・算定ツールを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減計画を策定した上で電力の契約を変更した(2021年10月)。								7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社で取り扱う商品について、食品衛生法、玩具安全基準(ST)などの法令、基準に適合しているか、顧客要求事項に照らして確認する体制を構築している			3.9			6.3						11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・環境に配慮した材、製品の提供を通じて生物多様性保全に配慮している(社是に謳っている)							6.6								15			
16		【3 Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・梱包緩衝材の再利用、古紙の梱包緩衝材への利用、コピー用紙裏紙の再利用などを積極的に推進している ・ダンボール、古紙の分別回収を行っている											13		14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)										6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)							3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)																12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・電力に関して、再生可能エネルギー100%のプランに切り替えた(2021年10月)。								7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・合法木材供給事業者の認定を受け、違法伐採に反対表明している(木材表示推進協議会:FIPC)													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・贈収賄を含む刑法違反があった際には懲戒解雇することなどを就業規則に明記し防止に取り組んでいる																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・不正競争行為を含む不都合な行為を行った際には懲戒解雇することなどを就業規則に明記し防止に取り組んでいる																16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・知的財産を含む業務上の機密や会社に不利益となる事項を他に漏らさないことを就業規則に明記し周知している								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・顧客情報を含む個人情報を外部に持ち出さず、他に漏らさないことを就業規則に明記している ・個人情報を取り扱う担当者およびコンピュータを限定し、コンピュータにはパスワードをかけて保護している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)																				16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応 (ハラスメント・汚職・贈収賄防止) について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)								5			8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】 (R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			「パートナーシップ構築宣言」を作成し、Webサイトにて公表している				3				8	9	10							17	

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																	
																																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・品質管理室を設け、メーカーと共同で取扱商品の安全性向上に努めている				3.9							12.4																							
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・品質管理室を設け、メーカーと共同で取扱商品の品質およびサービスの向上に努めている ・毎年取引先説明会を開催し、品質やサービスの問題を共有し解決を図っている							9																											
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・天然素材の商品を取り扱うことを社是として掲げている							6				12	13	14	15																				
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・地域の学生のインターンシップ、体験学習の受け入れおよび地場産業の組合に加盟し、常に地域との関わりを持ちながら事業を展開している								4			9		11	12			14	15				17												
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・地域の診療所の復活運動や地域活性化プロジェクトへの参加など、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる											4					11			14	15			17											
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・内職などの作業に地域の職人や授産所、就労支援施設などを優先的に選択して依頼している ・地元水力発電所で発電した電力を90%程度使用している																8	9		11	12	13													
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			・毎朝の朝礼司会を全社員が交代で担当し、その中で毎回経営理念（社是）を唱和し周知している																								17										
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・労働基準法をはじめその他の法令を遵守する旨および刑法違反等があった場合に懲戒解雇する旨を就業規則に明記している																								16										
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・経営者から率先してCSRの意義を認識し活動している ・社長直轄でSDGs推進担当者を置いている																								16										
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な営業活動に落とし込んでいる																								16	17									
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）																												16									
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			木育に関する学習会を定期的に開催し、ステークホルダーとのコミュニケーションを図るとともに、CSR、SDGsおよび会社の経営理念を共有している																									16									
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）																												9	11		13 13.1						16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）																																17					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定